

第46回水の週間実施報告書



令和4年12月

水の週間実行委員会

第46回水の週間中央行事は、後援機関及び協賛団体の

皆様のご支援・ご協力により開催されました。

主催機関

水循環政策本部	国土交通省	東京都
水の週間実行委員会		

後援機関

文部科学省	厚生労働省	農林水産省
経済産業省	環境省	独立行政法人 水資源機構
公益財団法人 日本科学技術振興財団	日本放送協会	一般社団法人 日本新聞協会

協賛団体（五十音順）

公益財団法人 河川財団	一般財団法人 河川情報センター	一般社団法人 建設広報協会
一般社団法人 建設コンサルタンツ協会	一般財団法人 国土技術研究センター	一般財団法人 砂防・地すべり技術センター
一般財団法人 砂防フロンティア整備推進機構	一般財団法人 水源地環境センター	石油連盟
一般社団法人 セメント協会	一般社団法人 全国建設業協会	公益社団法人 全国建築物飲料水管理協会
一般財団法人 ダム技術センター	一般社団法人 ダム・堰施設技術協会	電気事業連合会
一般社団法人 日本埋立浚渫協会	一般社団法人 日本ガス協会	一般社団法人 日本橋梁建設協会
一般社団法人 日本経済団体連合会	一般社団法人 日本建設機械施工協会	一般社団法人 日本建設業連合会
一般財団法人 日本建設情報総合センター	一般社団法人 日本水道工業団体連合会	日本製紙連合会
一般社団法人 日本鉄鋼連盟	一般社団法人 日本電機工業会	一般社団法人 日本ホテル協会
一般社団法人 日本林業土木連合協会	一般社団法人 日本レストルーム工業会	公益財団法人 リバーフロント研究所

水の週間実行委員会委員団体

全国水土里ネット	公益社団法人 日本水道協会	公益財団法人 利根川・荒川水源地域対策基金
一般財団法人 造水促進センター	全国簡易水道協議会	一般社団法人 日本治山治水協会
公益社団法人 日本下水道協会	公益社団法人 土木学会	公益社団法人 日本河川協会
一般財団法人 日本ダム協会	公益社団法人 農業農村工学会	一般社団法人 日本工業用水協会
地下水適正管理協議会	独立行政法人 水資源機構	特定非営利活動法人 日本水フォーラム

(目 次)

第46回「水の週間」の開催にあたり	4
第46回「水の週間」行事の概要	9
水の週間中央行事「水を考えるつどい」	11
水の週間中央行事「水のワークショップ」・「水の展示会」	15
動画「シリーズ水のめぐみ」	20
令和4年度水資源功績者表彰	22
第44回全日本中学生水の作文コンクール	24
一日事務所長体験	28
第37回水とのふれあいフォトコンテスト	30
上下流交流活動	35
国・地方公共団体等における取組について	37
広報の取組	41
第46回「水の週間」(令和3年度)都道府県行事一覧	44
第46回「水の週間」新聞等報道状況	45
「水の週間」実施経過	48
水の週間実行委員会について	51

※表紙の写真は、第36回水とのふれあいフォトコンテストグランプリ「水を飲みたいな」：伊達兼敏氏
※表紙のロゴマークは、平成27年に選定された「健全な水循環」に関するロゴマーク

「水の日」及び「水の週間」について

昭和 52 年 5 月 31 日

閣 議 了 解

水資源の有限性、水の貴重さ及び水資源開発の重要性について国民の関心を高め、理解を深めるため、「水の日」を設ける。

「水の日」は毎年 8 月 1 日とし、この日を初日とする一週間を「水の週間」として、この週間において、ポスターの掲示、講演会の開催等の行事を全国的に実施するものとする。

上記の行事は、地方公共団体その他関係団体の緊密な協力を得て行うものとする。

「水の日」及び「水の週間」制定の理由

わが国の水需要は、生活水準の向上、経済の進展等に伴って近年著しく増大してきたが、一方水資源の開発は次第に困難になっており、渇水時には水不足が生ずることが予想される状況となっている。

このような状況にかんがみ、毎年 8 月 1 日を「水の日」とし、この日を初日とする一週間を「水の週間」として、この週間において、水資源の有限性、水の貴重さ及び水資源開発の重要性に対する関心を高め、理解を深めるための諸行事を行うことによってわが国の水問題の解決を図り、もって国民経済の成長と国民生活の向上に寄与することとしたい。

なお、諸行事を行うためには、年間を通じて水の使用量が多く、水について関心が高まっている 8 月の月上旬が適当であるので、その初日である 8 月 1 日を「水の日」とし、この日を初日とする一週間を「水の週間」とするものである。

水循環基本法（平成 26 年法律第 16 号）

第十条 国民の間に広く健全な水循環の重要性についての理解と関心を深めるようにするため、水の日を設ける。

2 水の日は、八月一日とする。

3 国及び地方公共団体は、水の日趣旨にふさわしい事業を実施するように努めなければならない。

平成 26 年 7 月 1 日に水循環基本法が施行され、8 月 1 日は、国民の間に広く健全な水循環の重要性についての理解や関心を深める日として、法律で定められた「水の日」となりました。

第46回「水の週間」の開催にあたり



さいとう てつお
斉藤 鉄夫 水循環政策担当大臣（国土交通大臣）

水循環政策を担当しております国土交通大臣の斉藤鉄夫です。

本日は、瑤子女王殿下の御臨席を賜り、第46回「水の日」記念行事『水を考えるつどい』が開催されますこと、心からお慶び申し上げます。

また、開催にあたり、多大なご尽力を賜りました虫明会長を始め、全ての関係者の皆様に、心から敬意と感謝を申し上げます。

水は、生命の源であり、私たちの生活に大きな「恵み」を与え続けてまいりました。その一方で、時として、水は、洪水や渇水などの「災い」をもたらすこともあり、近年は、気候変動等の影響により、水災害は激甚化・頻発化しています。

これを踏まえ、本年4月に開催された第4回アジア・太平洋水サミットにおいては、我が国から『熊本 水イニシアティブ』を発表するとともに、首脳級会合においては『熊本宣言』を採択するなどの取組みを進めてまいりました。

一方、政策の推進に当たりましては、国民の皆様に、水に対する関心を持っていただくことも不可欠です。

そのため、毎年、8月1日を「水の日」、水の日から始まる1週間を「水の週間」として、全国各地で様々な関連行事を開催しておりますが、特に、「水を考えるつどい」は、国民の皆様に、水に対する関心を持っていただく重要な行事であると考えております。

本日の「水を考えるつどい」が、水のもたらす恵みを将来にわたり享受できる社会の構築に向けた一助となりますことを、心より期待しております。

結びとなりますが、本日ご参加の全ての皆様方の尚一層のご活躍とご健勝を祈念し、私のご挨拶とさせていただきます。

水循環政策担当大臣（国土交通大臣） 斉藤 鉄夫



東京都知事 代理出席 東京都都市整備局 ^{ふくだ}_{いたる} 福田 至 局長

ただ今御紹介いただきました東京都都市整備局長の福田でございます。

本日ここに、瑤子女王殿下の御臨席のもと、第46回「水の日」記念行事「水を考えるつどい」を開催できますことを、たいへん光栄に思いますとともに、この集いに御列席の皆様へ、心からお礼を申し上げます。

本来ならば小池知事が御挨拶を申し上げるところでございますが、公務により出席できないため、代読させていただきます。

新型コロナウイルスの影響により、昨年、一昨年と縮小して開催されていた「水の週間行事」が、多くの皆様の御尽力により、本年、このように繰り広げられますことは、都民をはじめ国民の皆様方が水の大切さを改めて考える上で、誠に意義深いことと思っております。

江戸の昔から、東京は「水の都」として発展してきました。現在も、そしてこれからも、水は私たちの生活を支え、日常に安らぎを与えてくれる大切な存在です。

東京都は、令和3年3月、『未来の東京』戦略』を策定し、目指すべき「ビジョン」とその実現に向けた「戦略」を明らかにしました。良好な水循環への取組、激甚化する豪雨災害への取組など、利水、治水から水辺再生に至るまで多様な施策を展開していくこととしています。

例えば、利水では、安全でおいしい水の安定供給に向けて、森林の持つ水源かん養機能等の向上や、安定した河川流量の確保などを目的に、水道水源林の保全管理に取り組んでおります。

治水では、激甚化・頻発化する豪雨災害を踏まえ、河川の護岸や調節池・下水道の貯留施設などの整備を更に推進するとともに、適切な避難行動を促すマイ・タイムラインの普及を図るなど、ハード・ソフトの両面から対策に取り組んでおります。

水辺に新たなにぎわいを生み出すために、河川敷地を活用してレストランなどの営業を行う「かわてらす」を日本橋川や隅田川で展開しています。

東京は、蛇口から直接おいしい水を飲むことができる、世界でも数少ない都市です。安全で高品質な水道水は、大きな魅力であり、強みでもあります。高い水道技術や運営ノウハウを確実に未来に引き継ぐとともに、民間企業等と連携した国際展開の取組も進めています。

引き続き、都民や事業者、国など関係者の皆様のお力添えを賜りながら、東京における「水」に関する様々な施策に積極的に取り組んでまいります。

結びに、この水の週間行事が、都民・国民の皆様の水に対する認識を一層深める有意義な機会となりますことを期待申し上げ、皆様の益々の御健勝、御発展を祈念いたしまして、御挨拶とさせていただきます。

東京都知事 小池 百合子 代読



水の週間実行委員会 ^{むしあけ} 虫明 ^{かつみ} 功臣 会長

水の週間実行委員会会長の虫明功臣でございます。

第46回目の「水の日」及び「水の週間」を迎え、本日ここに、三笠宮瑤子女王の御臨席のもと、「水を考えるつどい」を開催するにあたりまして、主催者の一人として一言ご挨拶を申し上げます。

一昨年度の「水を考えるつどい」は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、オンライン形式での配信となり、また、昨年度は、入場者を制限しての開催となりましたが、今年度の「水を考えるつどい」は、このように多くの方に参加いただいての開催の運びとなりました。開催に当たって、多くの皆様の格別のご理解とご協力を賜りましたことを、この場をお借りしまして厚く御礼申し上げます。

さて、昭和五十二年に「水の日」、「水の週間」の取り組みが始まって45年が経過いたしました。その間、我が国では、社会経済環境と自然環境の著しい変化に伴って形を変えて現れる種々の水問題に対して、ソフト・ハードの両面からなる様々な対策を講じながら、水問題解決への施策を着実に進化させてきました。

最近10年程度で見て、新たな2つの施策を挙げたいと思います。一つ目は、平成26年の水循環基本法の制定です。昨年、これまで懸案であった地下水保全に関する規定を設ける改正が行われました。二つ目は、令和2年に、気候変動によって激甚化・頻発化する水災害へ対応するために提唱された「あらゆる関係者により流域全体で行う「流域治水」への転換」です。この大きな政策転換の第一歩として「流域治水プロジェクト」が現在鋭意進められています。

世界に目を向けても、洪水や渇水に関する報道を頻繁に目にし、多くの人々が水問題に関連した禍で苦しんでいることが分かります。

今年4月、アジア地域の首脳級、国際機関、水の専門家及びNGO等が集い「持続可能な発展のための水～実践と継承～」をテーマに第4回アジア・太平洋水サミットが開催されました。このサミットは、前述したような我が国の先駆的な経験を世界に発信する絶好の機会ともなっています。成果文

書として「熊本宣言」がとりまとめられ、水の持続性についての取組の強化により「質の高い社会」への変革が必要であることが述べられています。このような水をめぐる国内外の状況の中で、今後、水に関する防災や減災、持続可能な水利用の確保、SDGs の達成や世界の水問題の改善などの取組みを更に推進していくためには、何より、国民の皆様に、健全な水循環の重要性などについて、広く関心と理解を深めていただくことが一層重要となってきています。

「水の日」、「水の週間」に全国各地で開催される諸行事は、国民の皆様の関心と理解を深めて頂く上で重要な意義を有するものであり、中央行事である本日の「水を考えるつどい」も、その一助となることに期待しています。

最後となりますが、水の週間行事に対する皆様の今後とも変わらぬご理解とご協力をお願い申し上げます。私からの挨拶とさせていただきます。

水の週間実行委員会会長 虫明 功臣

第46回「水の週間」行事の概要

行 事	実 施 内 容	主 催 者 等
水の週間中央行事	<p>1. 水を考えるつどい 日時:令和4年8月1日(月) 14:00～ 場所:イイノホール(東京都千代田区) 内容: ①主催者挨拶 ②第44回全日本中学生水の作文コンクール表彰式 ③上記作文コンクール最優秀賞受賞者による作文朗読 ④講演(気象庁気象研究所研究官・荒木健太郎氏) ⑤荒木研究官と水の作文コンクール受賞者による雲に関する実験と交流会</p>	<p>主催:水循環政策本部、国土交通省、東京都、実行委員会(注) 後援:文部科学省、厚生労働省、農林水産省、経済産業省、環境省、(独)水資源機構、(公財)日本科学技術振興財団、日本放送協会、(一社)日本新聞協会</p>
	<p>2. 水のワークショップ・展示会 1) 水のワークショップ「地下水と水循環について学ぼう！」 日時:令和4年8月6日(土)10:30～11:30 場所:日比谷図書文化館 日比谷コンベンションホール(東京都千代田区) 内容:①天気と水循環に関する講演(気象キャスター・水越祐一氏) ②地下水保全に関する取組について(2022ミス日本「水の天使」横山莉奈さん) ③地下水に関するクイズ大会 ④お楽しみ企画 2)「水のミュージアムオンライン～水の循環とわたしたち～」 期間:令和4年8月6日(土)～31日(水) 内容:水に関係する団体が動画やスライドショーをWEBに出版し、クイズ大会も実施したオンラインイベント。</p>	<p>主催:実行委員会</p>
動画「シリーズ水のめぐみ」	<p>水循環について理解を深めていただくため、水に関する施設を紹介する動画「シリーズ水のめぐみ」をWEBに公開。</p>	<p>主催:実行委員会</p>
令和4年度水資源功績者表彰	<p>水資源行政の推進に関し、特に顕著な功績のあった個人並びに団体に対して、国土交通大臣表彰を授与。</p>	<p>主催:国土交通省</p>
第44回全日本中学生水の作文コンクール	<p>「水について考える」をテーマとして、中学生を対象に水の作文コンクールを実施。 都道府県の各地方審査等を経た作品を中央審査会で審査し、優秀作品に対して最優秀賞(内閣総理大臣賞)等を授与。</p>	<p>主催:水循環政策本部、国土交通省、都道府県 後援:文部科学省、厚生労働省、農林水産省、経済産業省、環境省、全日本中学校長会、(独)水資源機構、実行委員会</p>
一日事務所長体験	<p>全日本中学生水の作文コンクール優秀賞以上の受賞者の内、希望する者について在住地近隣の関係機関の事務所等において一日事務所長体験を実施。</p>	
第37回水とのふれあいフォトコンテスト	<p>健全な水循環の重要性や水資源の有限性、水の貴重さ、水資源開発の重要性について広く理解と関心を深めることに資する写真作品(例:「生命を支え、育む水」、「ダムや水路、水道など水をつくり、供給するもの」、「くらしの中の水」、「歴史とともにある水の風景」)を募集し、フォトコンテストを実施。優秀作品に対して、国土交通大臣賞等を授与。 また、若年層も含めてより広く作品を募集するSNS部門コンテストを実施。優秀作品に対して、各賞を授与。</p>	<p>主催:実行委員会 後援:国土交通省、東京都、(独)水資源機構</p>

行 事	実 施 内 容	主 催 者 等
上下流交流事業実施団体への助成	水資源の有限性、水の貴重さ及び水資源開発の重要性についての啓発や、ダム水源地域の振興に資する上下流住民の連携に関する活動を行う団体等に対し、助成を実施。	主催：実行委員会
施設見学会	ダムや浄水場などの水資源開発施設の見学会を各都道府県等において実施。	主催：都道府県ほか
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・全国各地で①講演会、②展示会など多彩な催しの実施 ・ポスターの配布・掲示 	

(注)「実行委員会」とは、「水の日」・「水の週間」の趣旨に賛同し、政府による「水の週間」の各種の啓発活動と一体となった諸行事を積極的に実施することを目的として、水に関係の深い団体により設立された「水の週間実行委員会」を指すものです。

水の週間中央行事「水を考えるつどい」



令和4年8月1日（月）、イイノホール（東京都千代田区）において「水を考えるつどい」（主催：水循環政策本部、国土交通省、東京都、水の週間実行委員会）が開催されました。

なお、今年は、初めて三笠宮家の瑠子女王殿下に御臨席を賜ったほか、新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を徹底した上で、3年ぶりに一般の方が参加しての開催となりました。

式典では、齊藤鉄夫 水循環政策担当大臣（国土交通大臣）、福田至 東京都都市整備局長、虫明功臣 水の週間実行委員会会長による主催者挨拶につづいて、「第44回全日本中学生水の作文コンクール」の表彰式が行われ、最優秀賞及び本年度から新たに追加された「シャワーズ」賞を含む優秀賞を受賞された皆さんに賞状が授与されました。

最優秀賞（内閣総理大臣賞）を受賞した徳島県阿南市立那賀川中学校3年生 ^{かさえはやと} 笠江 駿 さんによる作文朗読では、地元で撮影した作文にちなんだ映像をバックに、自身が「水を守る活動」を始めるきっかけとなった源流との出会いや、地元での清掃活動などの体験をつづった作品が披露されました。

表彰式の後には、映画「天気の子」で気象監修を務めた気象庁気象研究所研究官、雲研究者の荒木健太郎氏による「雲を愛する技術」と題した講演が行われ、雲の魅力、線状降水帯のメカニズム、雲を見て天気を予測するコツなどをお話いただきました。

つづいて行われた荒木氏と全日本水の作文コンクール受賞者による交流会では、ペットボトルを使った雲をつくる実験などを交えて、気象に関する意見交換が和やかに行われました。

【内容】

○主催者挨拶

齊藤 鉄夫（水循環政策担当大臣・国土交通大臣）

福田 至（東京都都市整備局長）

虫明 功臣（水の週間実行委員会会長・東京大学名誉教授）

○第44回全日本中学生水の作文コンクール表彰式



表彰式



記念撮影

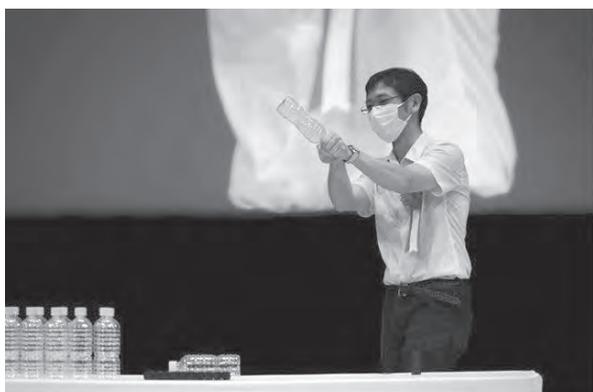
○講演

・雲を愛する技術

荒木 健太郎 氏／気象庁気象研究所研究官、雲研究者



○荒木研究官と水の作文コンクール受賞者による雲の実験・交流会



○YouTube（国土交通省チャンネル）での動画配信

- ① 第44回全日本中学生水の作文コンクール 最優秀賞受賞者の作文朗読

https://youtu.be/czCa_nzndXM

- ② 講演「雲を愛する技術」荒木健太郎 氏／気象庁気象研究所研究官・雲研究者

<https://youtu.be/wWgixm3DINo>

- ③ 荒木研究官と水の作文コンクール受賞者による雲の実験・交流会

<https://youtu.be/V4wwVJOSRpA>



動画①



動画②



動画③

○開会に先立ち行われた「打ち水大作戦2022」



令和4年度「水の日」記念行事

8月1日は「水の日」

水を考えるつどい

開催日時 令和4年8月1日(月) **入場無料(事前申込制)**
 14:00~16:40(会場での受付開始時間 13:00)

会場 イノホール
 (東京都千代田区内幸町2-1-1 飯野ビルディング4階)

式典 [14:00~14:45] 主催者挨拶・全日本中学生水の作文コンクール表彰式など

[15:10~16:00] **講演**
 「雲を愛する技術」
 気象庁気象研究所研究官・雲研究者 荒木健太郎氏

[16:10~16:40] 荒木研究官と水の作文コンクール受賞者による
 雲に関する実験と交流会




写真：福井県大野市

水循環基本法に基づき8月1日が「水の日」と定められました。
 8月1日から7日は「水の週間」です。

水の日 検索



<http://mizunohi.jp>

「水の日」応援大使

- 👉 ポケットモンスター
- 👉 No.134 シャワーズ
- 👉 タイプ みず
- 👉 とくせい ちやうすい



シャワーズはきれいな氷冠に生息し、細胞が氷の分子に似ていることから、「水の日」応援大使として「水の日」を応援しています。

【主催】水循環政策本部、東京都、水の週間実行委員会ほか
 【後援】文部科学省、厚生労働省、農林水産省、経済産業省、環境省ほか
 「水の日・水の週間」に関する情報は各ホームページへ
 (菅轄官邸、国土交通省、水の日・水の週間)

©2022 Pokémon ©1995-2022 Nintendo/Creatures Inc./GAME FREAK inc.
 ポケットモンスター・ポケモン・Pokémonは任天堂・クリーチャーズ・ゲームフリークの登録商標です。
 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、開催内容を変更とする場合がございます。

「水を考えるつどい」開催周知チラシ

水の週間中央行事「水のワークショップ」・「水の展示会」

例年、水の週間実行委員会では、毎年8月に東京都内の会場で、水に関するパネル展示やブース出展などを行う「水の展示会」を開催しています。令和2年度は新型コロナウイルス感染症のため展示会を開催しませんでした。これに代わるものとして、令和3年度は、新たな試みとして「水のミュージアムオンライン～水の循環とわたしたち～」と題したオンラインイベントを開催し、多くの方にサイトを訪問いただいたところです。

今年度は、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止策を徹底した上で、新しく小学生の親子を対象とした「水のワークショップー地下水と水循環について学ぼう！」を令和4年8月6日（土）に東京都千代田区にある日比谷コンベンションホールにて開催しました。

「水のワークショップ」では、気象キャスター水越祐一さんによる天気と水循環に関する講演、2022ミス日本「水の天使」横山莉奈さんによる地下水保全に関する取組紹介（水の週間実行委員会が制作した「シリーズ水のめぐみ」地下水編のお披露目）と地下水に関するクイズ大会を行いました。クイズ大会には「水の日」応援大使シャワーズも遊びに駆けつけてくれ、大会は大いに盛り上がり、記念写真の撮影会も行いました。参加された方には夏休みのよい思い出になったと思います。



気象キャスター水越祐一さんによる天気と水循環に関する講演



「水のワークショップ」
動画QRコード



2022 ミス日本「水の天使」横山莉奈さんと「水の日」応援大使シャワーズ

また、昨年度、水の週間ホームページに開設した「水のミュージアムオンライン」を今年度も開催しました。当イベントには、昨年度参加の8団体に加え、新たに地下水適正管理協議会に参加いただき、各団体が作成した動画やスライドショーをホームページに公開し、クイズに答えると抽選でプレゼントがあたる企画も行いました。

【U R L】 <http://www.mizunohi.jp/museum/index.html>

【出展団体】

- ・水の週間実行委員会
- ・東京都水道局
- ・東京都下水道局
- ・一般社団法人 ダム工学会 ダムなんでも相談室
- ・一般社団法人 日本治山治水協会
- ・巧水（たくみ）スタイル推進チーム
- ・特定非営利活動法人 日本水フォーラム
- ・地下水適正管理協議会
- ・独立行政法人 水資源機構



「水のミュージアムオンライン」へ



水のミュージアムオンライントップ画面 (<http://mizunohi.jp/museum/index.html>)

《各団体からの出展内容》



【水の週間実行委員会】

水はどこから？

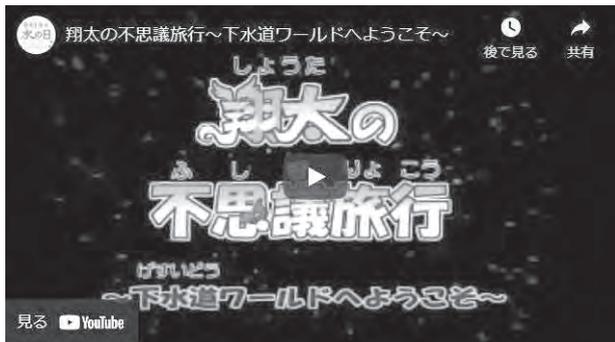
水の大切さについて、水の循環やダムの役割の解説を視聴することによって学ぶ動画。



【東京都水道局】

みずたび 水道水源林

水道水源林の保全活動や小河内ダム、浄水場などの紹介を通じて、安全でおいしい水が届くまでが学べる動画。



【東京都下水道局】

翔太の不思議旅行

～下水道ワールドへようこそ～

下水道の仕組みや役割などを紹介するアニメーション。



【一般社団法人ダム工学会 ダムなんでも相談室】

ダムのやくわり

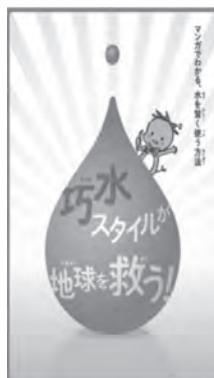
水の循環やダムの役割、ダムができるまでがわかるスライドショー。



【一般社団法人日本治山治水協会】

森林の働きとおいしい水

森林に降った雨が、どのようにしてミネラルを含んだおいしい水になるのか、森林の働きについて学べる動画。



【巧水スタイル推進チーム】

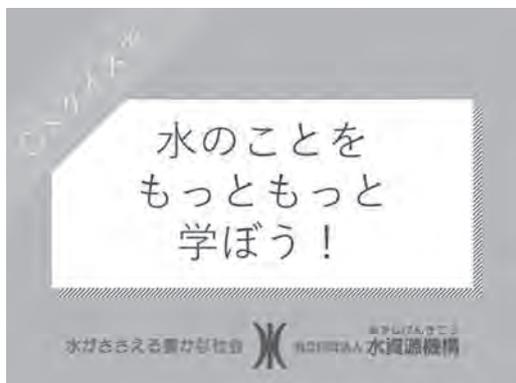
マンガでわかる、水を賢く使う方法
巧水スタイルが地球を救う！

ムダをなくし、水を賢く使う方法について、面白おかしく紹介したマンガ。



【特定非営利活動法人日本水フォーラム】
みんなと一緒に考えよう～水の大切さ

水に困窮する国の状況やその問題に取り組む日本水フォーラムの活動を紹介する動画。



【独立行政法人水資源機構】

○×クイズで水のこともっともっと学ぼう！

水についてのあれこれを、○×クイズに答えて学ぶスライドショー。



【地下水適正管理協議会】

地下水はどこから？

2022 ミス日本「水の天使」の横山さんが熊本での地下水保全の取組を紹介した動画を見てクイズにチャレンジ。

mizunohi (YouTube チャンネル) : https://www.youtube.com/channel/UCyolR1vBiozVoi1LJPWi4_w

動画「シリーズ水のめぐみ」

水に関する様々な施設を紹介し、水循環について理解を深めていただくための動画、「シリーズ水のめぐみ」を昨年度から制作し、第一弾「下久保ダム編」及び第二弾「利根大堰編」を公開しています。

今年度は第三弾として、令和3年6月に水循環基本法が改正され、地下水の適正な保全及び利用が明確に位置付けられたこと、また、本年3月に水循環政策本部より「流域マネジメントの事例集 地下水編 普及啓発・広報編」が発行されたことを踏まえ「地下水編」を制作・公開しました。(公財)くまもと地下水財団の協力をいただき、2022ミス日本「水の天使」の横山莉奈さんに、「水の国」とも呼ばれる熊本の地下水保全に関する取り組みとそれに携わる方へのインタビューなどを通じて紹介する内容となっています。

「地下水編」は8月6日(土)に開催した「水のワークショップ」にて公開し、地下水や動画に関するクイズ大会を行い、地下水保全の取り組み等について来場者に紹介しました。また、動画は同日より「水の日」「水の週間」ホームページに掲載しています。

今後も、水に関する施設や取組、それに携わる方々を紹介する動画を制作・公開し、「水の日」「水の週間」の認知度向上と水循環について理解を深める取り組みを行ってまいります。

【シリーズ 水のめぐみ】地下水編 (YouTube アカウント : mizunohi チャンネル)



「シリーズ 水のめぐみ」のページへ



(参考：過去のシリーズ水のめぐみ)

【シリーズ 水のめぐみ】下久保ダム編 (YouTube アカウント：mizunohi チャンネル)



【シリーズ 水のめぐみ】利根大堰編 (YouTube アカウント：mizunohi チャンネル)



令和4年度水資源功績者表彰

水資源行政の推進に当たって、水源地域の振興、水環境の保全、水源涵養、水資源の有効活用等に永年にわたって尽力されたことなど、特に顕著な功績のあった個人及び団体が、水資源功績者として表彰されました。表彰式は令和4年8月5日（金）に国土交通省において執り行われ、斉藤鉄夫国土交通大臣から表彰状が授与されました。

[個人]・・・1名

受賞者	功績概要
<small>みやばやし しげゆき</small> 宮林 茂幸 (埼玉県)	荒川源流ダム水源地域ビジョン策定委員会委員長、 荒川ビジョン推進協議会会長などを歴任。荒川下流地域の住民を秩父地域へ招待する活動等を行い、荒川流域の上下流交流事業・秩父地域の地域活性化に長年中心的な立場で尽力された。また、国土交通省出前講座等を活用し、荒川の流域連携や流域治水等について講演している。

[団体]・・・7団体

受賞者	功績概要
特定非営利活動法人 北上川サポート協会 (岩手県)	「川とのふれあい」を活動テーマに北上川流域の環境保全のため、地域住民や各種団体、行政機関など多様な主体と連携し河川清掃活動、自然学習活動、防災学習活動を継続的に実施し、水資源の保全や啓発活動に取り組んでいる。
サントリープロダクツ 株式会社榛名工場 (群馬県)	工場の水源涵養エリアを特定し、森林所有者と森林整備の中長期的な協定を結び、水源涵養林の保全を行っている。 また、地元の小学生を対象とした環境活動を開催するなど、涵養活動の重要性についての啓発活動にも取り組んでいる。
サントリー株式会社 <天然水のビール工場>群馬 (群馬県)	
認定特定非営利活動法人 未来の荒川をつくる会 (山梨県)	甲府市・甲斐市を流れる荒川及びその支流の河川清掃を、地元の小中学生、高校生、流域住民等の多数のボランティアの参加のもと、継続的に実施している。また、学校での講演会、水辺の自然にふれあうイベントの開催などを通じ、水資源の保全についての啓発活動にも取り組んでいる。

受賞者	功績概要
東播用水「水と緑の交流」 実行委員会 (兵庫県)	東播用水の恩恵を受ける下流域の住民が水源地域を訪れ、ダム等の水利施設を見学するとともに、多様な主体との協働による水源林の整備・管理や環境保全活動等を通じて、水の大切さや水源地域に対する感謝、水源地域の現状・問題等の理解の促進に取り組んでいる。
アクアフェスタ in福富実行委員会 (広島県)	「水はいのち」をテーマとした地域のシンボルイベント（アクアフェスタin福富）を多様な主体と連携し、長年にわたり開催している。「水」をキーワードにした地域づくりを通じ、水源地域の役割や重要性を啓発し、流域の一体的な発展をめざした活動に取り組んでいる。
むなかた「水と緑の会」 (福岡県)	宗像の水源地である釣川において、毎年約2,000人が参加する河川清掃活動を長年にわたり実施している。また、小学生を対象とした水辺教室の開催などを通じ、水の大切さや環境保全に関する啓発活動にも取り組んでいる。



令和4年度水資源功績者表彰 受賞者集合写真

第44回全日本中学生水の作文コンクール

全国の中学生及び海外日本人学校在学の中学生を対象に、「水について考える」をテーマとする「第44回全日本中学生水の作文コンクール」を開催し、本年は404校より総数9,249編の応募がありました。各都道府県の地方審査、中央審査会の審査等により、最優秀賞1編、優秀賞10編及び入選29編が選ばれました。

表彰式は、令和4年8月1日（月）に東京都千代田区のイイノホールで開催された第46回「水の日」記念行事「水を考えるつどい」にて執り行われ、優秀賞以上の受賞者に関係機関の代表者から賞状が授与されました。

表彰式に続いて最優秀賞を受賞された徳島県 阿南市立那賀川中学校3年生 ^{かさえ} 笠江 ^{はやと} 駿 さんによる作文の朗読が行われました。

(1) 主催等

主 催：水循環政策本部、国土交通省、都道府県

後 援：文部科学省、厚生労働省、農林水産省、経済産業省、環境省、
水の週間実行委員会、独立行政法人水資源機構、全日本中学校長会

(2) 募集要領

①テ ー マ：「水について考える」（題名は自由）

②原 稿：400字詰原稿用紙4枚以内

(3) 中央審査会審査委員 ※敬称略 審査当時

名倉 良雄 （厚生労働省医薬・生活衛生局水道課長
：内閣官房水循環政策本部事務局参事官）

緒方 和之 （農林水産省農村振興局整備部水資源課長
：内閣官房水循環政策本部事務局参事官）

塩手 能景 （経済産業省経済産業政策局地域経済産業グループ地域産業基盤整備課長
：内閣官房水循環政策本部事務局参事官）

永井 春信 （国土交通省大臣官房審議官（水管理・国土保全局担当）
：内閣官房水循環政策本部事務局審議官）

川又孝太郎 （環境省水・大気環境局水環境課長
：内閣官房水循環政策本部事務局参事官）

佐藤 太 （全日本中学校長会編集部長）

須磨 佳津江（キャスター）

長崎 宏子 （スポーツコンサルタント 元オリンピックスイマー）

玉野井 晃 （公益社団法人 日本水道協会調査部長）

熊谷 和哉 （独立行政法人水資源機構理事）

橋本 淳司 （水ジャーナリスト 武蔵野大学客員教授）

※表彰式の集合写真は、P12をご覧ください。

水

第44回 全日本中学生 の作文 コンクール



Photo: 大治 (香川県高松市)

考えよう。そして伝えよう。
大切な「みず」のこと。

「水」をテーマにした作文を募集します。

「水」とは、みなさんにとって、どんな存在ですか？

暮らしの中での体験や、授業などで学んだこと、調べたこと・・・

みなさんにとって、大切な「水」への思いをつづってみませんか？

◆メインテーマ
水について考える
(個別の題名は自由)

◆応募対象
中学生(2022年4月時点)
海外からの応募もお待ちしております。
※作品は日本語でお書きください。

◆応募締切
【国内】各都道府県の水資源担当部署にお問い合わせください
【海外】令和4年5月20日(金)
◆提出先(問い合わせ先)
国土交通省水管理・国土保全局
水資源部水資源政策課
〒100-8918東京都千代田区霞が関2丁目1番地3号
☎03-5253-8386(直通)

【主催】水循環政策本部、国土交通省、都道府県
【後援】文部科学省、厚生労働省、農林水産省、経済産業省、環境省、水の週間実行委員会、独立行政法人水資源機構、全日本中学校長会

ポケットモンスター
No.134 シャワーズ

タイプ みず
とくせい ちよすい

8月1日は「水の日」 | 水循環基本法で、8月1日は「水の日」と定めています。8月1日から7日は「水の週間」です。

© 2021 Pokémon. © 1995-2021 Nintendo/Creatures Inc./GAME FREAK inc. ポケットモンスター・ポケモン・Pokémonは任天堂・クリーチャー・ゲームフリークの登録商標です。

水の作文 検索

詳しくは、QRコードから
「水の作文コンクール」ページを
ご覧ください。



第44回全日本中学生水の作文コンクール入賞者一覧

賞名	都道府県名	作文の題名	学校名	学年	氏名
最優秀賞 内閣総理大臣賞	徳島県	一滴との出会い	愛南市立那賀川中学校	3	笠江 駿
優秀賞 厚生労働大臣賞	京都府	琵琶湖疏水を作られた皆さんへ	龍谷大学付属平安中学校	3	鈴木 智尋
優秀賞 農林水産大臣賞	新潟県	繋ぐ水	新潟大学附属長岡中学校	3	齋喜 璃音
優秀賞 経済産業大臣賞	宮崎県	水と育む輪の中で永遠に	宮崎県立宮崎西高等学校附属中学校	3	三浦 世来
優秀賞 国土交通大臣賞	愛媛県	廃油石けんづくりを通して	高知県宿毛市愛媛県南宇和郡愛南町榛山小中学校組合立榛山中学校	2	木下 そら
優秀賞 環境大臣賞	愛知県	『水の惑星の未来は私たちが創る』	豊橋市立本郷中学校	3	中村 光里
優秀賞 全日本中学校長会会長賞	岩手県	命ある水	盛岡中央高等学校附属中学校	3	澤井 佳恋
優秀賞 水の週間実行委員会会長賞	和歌山県	私の断水体験記	和歌山県立向陽中学校	2	福田 純伶
優秀賞 独立行政法人水資源機構理事長賞	三重県	見える水と見えない施設	高田中学校	2	谷野 由依
優秀賞 シャワーズ賞	新潟県	山の水にはかみさんがいる	上越教育大学附属中学校	3	井口 慶香
優秀賞 中央審査会特別賞	茨城県	みんなが幸せになる洋服を	茨城大学教育学部附属中学校	3	金沢 青空
入選（29編）	北海道	水が持つふたつの顔	下川町立下川中学校	2	三浦 かな
	岩手県	ウォーターパワー	盛岡市立下小路中学校	2	佐藤 奈穂
	宮城県	緑が育む美味しい水	仙台市立郡山中学校	2	増川 智穂
	福島県	水は自然からの贈りもの	会津若松市立一箕中学校	2	満田 菜音
	東京都	水に感謝をこめて「いただきます」を	渋谷教育学園渋谷中学校	3	沖田 樹音
	神奈川県	森を育てて水を守る	聖園女子学院中学校	1	永峰 由壘
	富山県	大切な水を守るために	高岡市立牧野中学校	1	湊 遼真
	岐阜県	源清流清	垂井町立不破中学校	2	矢橋 悠
	静岡県	私たちの大事な水	不二聖心女子学院中学校	2	石川 怜奈
	静岡県	学びから行動へ、行動から美しい川へ	静岡市立両河内小中学校	9	山崎 倅来
	愛知県	循環する水が運ぶもの	名古屋市中区立若葉中学校	3	薛 知明
	三重県	「那智の滝から考える水資源」	高田中学校	2	山本 沙羅
	滋賀県	知り続ける心	大津市立日吉中学校	3	石本 菜菜
	京都府	おいしい水	京都先端科学大学附属中学校	2	古川 晏
	大阪府	冷たい井戸水と安全な水道水	大阪教育大学附属池田中学校	1	川畑 理桜
	兵庫県	おいしさの秘密	兵庫教育大学附属中学校	2	山口 倫佳
	奈良県	「わたしたちの大切な水道」	香芝市立香芝東中学校	3	松岡 あかり
	広島県	水環境を考える	広島大学附属福山中学校	3	加藤 里桜
	香川県	水の未来と私の決意	高松市立勝賀中学校	2	横関 美南
	愛媛県	「水がつなぐもの」	新居浜市立南中学校	3	梶島 采奈
	福岡県	眠る井戸への感謝の意味	宗像市立自由ヶ丘中学校	2	伊賀崎 望
	福岡県	「断水を経験して」	北九州市立熊西中学校	2	宮部 みのり
	佐賀県	「私の町を巡る水」	佐賀大学教育学部附属中学校	2	梅崎 知華
	熊本県	救う水、奪う水	嘉島町立嘉島中学校	2	金子 夏歩
	大分県	水の恩恵に釣り合うまで	九重町立このえ緑陽中学校	2	岩下 真理華
	宮崎県	「元氣玉」	宮崎県立宮崎西高等学校附属中学校	1	崎田 莉央
	鹿児島県	廻り行く水を繋ぐ責任	学校法人池田学園池田中学校	3	黒瀬 こころ
	沖縄県	水に負けず 水を大切に	那覇市立寄宮中学校	2	大城 奈子
	アメリカ合衆国	楽園の水	財団法人ハワイ日本人学校レインボー学園	3	遠藤 あかり

内閣総理大臣賞（最優秀賞）

一滴との出会い

幼いころから川が好きだ。ずっと眺めたり、石投げをしたり、浅瀬に足をつけ水の冷たさを体感したりするのが好きだ。また、「加茂谷鯉まつり」というイベントに参加して、五月晴れの大空に数百の鯉が悠然と泳ぐ姿を見ながら、梶取船で遊覧するのも大好きだ。

そんな、川が大好きな僕を小学校五年生の時に祖父が「那賀川源流探検ツアー」に誘ってくれた。このイベントに参加したことがきっかけとなり、僕の中に「川を楽しむ」視点に加え「水を守る」視点が生まれたように思う。あれから五年間、僕は自分にできることを考え、行動に移している。

ツアーでは、那賀川の水の原点の一滴を自分の目で見て手で掬い、自分の口に流し込んだ。また、一滴の水が滴る様子をイメージして作られた源流モニメントの美しさにも感動した。この体験を経て、僕の中で何かが変わったように感じた。僕が毎日過ごす街を流れている一級河川「那賀川」。その流れを見るたびに、「源流の一滴一滴の雫が集まったものなんだ」と考えると何とも言えない気持ちになる。この感動が僕を新しいことに挑戦する原動力となっている。

小学校の卒業式間近の三月二日に一斉休校が決まった。三カ月間にわたる休校期間は僕が新しいことにチャレンジする貴重な時間となった。まず、中学生になる直前の春休み、地域の清掃活動に参加した。軍手をはいて小さな鎌を持ち、ひたすら草抜きを頑張った。子供の参加は僕だけで、ご近所の皆さんから「偉いね。助かるよ。」と声をかけていただいた。「ステイホーム」が多かったので久しぶりに自然と向き合い、地域の幅広い年代の方々との交流ができたことに幸せを実感した。

中学生になり、以前から気になっていた近所の川に不法投棄されている家庭ゴミをどうにかしたいと思うようになった。市役所に相談の電話をしたが、「待つだけではいけない」と思い、自分で月に一度の清掃をす

徳島県 阿南市立那賀川中学校 三年 笠江 駿

ることにした。なかなか全てのゴミを拾うことはできないが、一つでも拾うことが、川を守る小さな一歩になると信じて続けている。数カ月を過ぎた頃、散歩をしている人や車で通りかかった人から「ご苦労様。」と声もかかるようになった。僕がゴミ拾いをする姿が地域の人の意識を変えることに繋がればと思い、家族でお揃いの「清流を守る」のTシャツも作った。確実に少しずつだが、以前に比べ川に捨てられるゴミが減り、川の水が美しくなっていることを実感できるようになった。

昨年からは、家の畑に野菜の種をまき育てている。小松菜や水菜の日々の成長に水は欠かせない。水やりをしながら、改めて水の大切さについて考えた。実際に自分が野菜を育てる経験をして、田植えの時期には自宅の田んぼで苗が育っていく様子を、これまでとは違った視点で観察するようになった。

中学生生活もあと一年。インターネット上の百科事典・ウィキペディアに阿南市の歴史や観光情報を書き込む編集イベント「ウィキペディアタウンプロジェクト」に参加した。世界中の誰もが見ることができ、責任の重さを感じるとともにやりがいも感じられた。ウィキペディアで情報を編集する学びを通して、コロナでたくさんのイベントが中止や延期となっても、世界中に水の大切さを伝えることができると気持ちが前向きになった。

今日も新規感染者数が発表されている。コロナ禍の時代を生きている人々は、否応なしに命の大切さを痛感している。そして同時に命を育む自然の重みを実感しているように感じる。そういった今だからこそ、僕は気持ちを行動に移したい。自分もコツコツと地道な活動を続けるとともに、インターネットを通じて僕自身も活動した「水を守る活動」の素晴らしさを一人でも多くの人に伝えたい。自ら発信することで活動の輪を広げていきたい。そう決意し、確かな歩みが続ける決意だ。

一日事務所長体験

全日本中学生水の作文コンクールの優秀賞以上の受賞者を在住地近隣の国土交通省及び独立行政法人水資源機構の事務所等に招待し、一日事務所長として職場体験が実施されました。今年度は、受賞者6名が以下のとおり一日事務所長を体験しました（実施日順）。

- 受賞者名 岩手県 盛岡中央高等学校附属中学校
澤井 佳恋 さん
優秀賞（全日本中学校長会会長賞）
- 実施日 令和4年7月29日（金）
- 実施事務所 国土交通省東北地方整備局
北上川ダム統合管理事務所



- 受賞者名 愛知県 豊橋市立本郷中学校
中村 光里 さん
優秀賞（環境大臣賞）
- 実施日 令和4年8月4日（木）
- 実施事務所 国土交通省中部地方整備局
矢作ダム管理所



- 受賞者名 宮崎県 宮崎県立宮崎西高等学校
附属中学校
三浦 世来 さん
優秀賞（経済産業大臣賞）
- 実施日 令和4年8月5日（金）
- 実施事務所 国土交通省九州地方整備局
宮崎河川国道事務所



○受賞者名 和歌山県 和歌山県立向陽中学校
福田 純侖 さん
優秀賞（水の週間実行委員会会長賞）
実施日 令和4年8月8日（月）
実施事務所 国土交通省近畿地方整備局
紀の川ダム統合管理事務所



○受賞者名 京都府 龍谷大学付属平安中学校
鈴木 智尋 さん
優秀賞（厚生労働大臣賞）
実施日 令和4年8月12日（金）
実施事務所 国土交通省近畿地方整備局
淀川ダム統合管理事務所



○受賞者名 徳島県 阿南市立那賀川中学校
笠江 駿 さん
最優秀賞（内閣総理大臣賞）
実施日 令和4年8月23日（火）
実施事務所 国土交通省四国地方整備局
那賀川河川事務所



第37回水とのふれあいフォトコンテスト

主催等 主催 水の週間実行委員会
後援 国土交通省、東京都、独立行政法人水資源機構
協賛 富士フイルムイメージングシステムズ（株）

募集作品 健全な水循環の重要性や水資源の有限性、水の貴重さ、水資源開発の重要性について広く理解と関心を深めることに資する作品

例) ・生命を支え、育む水 ・くらしの中の水
・ダムや水路、水道など水をつくり、供給するもの
・歴史とともにある水の風景 など

○カラープリント部門

募集期間 令和4年4月25日（月）～ 令和4年6月17日（金）

応募状況 総計 1,325点

審査員（敬称略 審査当時）

中谷 吉隆（写真家） 永井 春信（国土交通省大臣官房審議官）
中村 恵美（写真家） 福田 至（東京都都市整備局長）
筑紫 ゆうな（切り絵作家） 山田 哲也（水の週間実行委員会運営委員長）

URL <http://mizunohi.jp/intro/intro05.html>（「水の日」「水の週間」HP）

○SNS部門

募集期間 令和4年4月25日（月）～ 令和4年6月17日（金）

応募状況 総計 785点

審査員（敬称略 審査当時）

詩 歩（Shiho）（「死ぬまでに行きたい！世界の絶景」プロデューサー）
ひきたよしあき（コラムニスト）

URL <http://www.mizunohi.jp/photo/winners.html>（「水の日」「水の週間」HP）



河川 公益財団法人河川財団による
基金 河川基金の助成を受けています。

【カラープリント部門受賞作品】

〔グランプリ〕 1名

○ 国土交通大臣賞

「水を飲みたいな」

伊達 兼敏さん（大阪府）



〔優秀賞〕 3名

○ 東京都知事賞

「風媒銀乱」

岡本 洋三さん（東京都）



○ 水の週間実行委員会賞

「猛暑日」

長 吉秀さん（福岡県）



○ 独立行政法人水資源機構理事長賞

「放流」

澤井 祥憲さん (和歌山県)



〔特別賞〕 1名

○ 審査員特別賞

「水車小屋で！」

井上 勉さん (愛媛県)



〔特選〕 5名

「コーヒータイム」

高木 志津夫さん (福島県)

「捕獲」

佐々木 弘紀さん (佐賀県)

「守りたい景色」

井口 絵理香さん (大分県)

「五穀豊穰」

おどみ 岐諷さん (徳島県)

「泥まみれの休日」

田中 雅之さん (京都府)

〔入 選〕 10名

「隅田川水面の祭典」	多和	裕二さん	(東京都)
「すだれ放流」	菊地	誠一さん	(宮城県)
「おさかないっばい！」	増田	哲子さん	(福岡県)
「旬にそそぐ」	佐藤	克實さん	(東京都)
「棚田の田植え」	大高	久昌さん	(愛媛県)
「冬支度」	太田	誠二さん	(新潟県)
「清流に光る」	林	良子さん	(山口県)
「惜春の頃」	西川	靖弘さん	(大阪府)
「堰に憩う」	能登	正俊さん	(東京都)
「鶺鴒との信頼」	中山	晃さん	(愛知県)

【SNS 部門受賞作品】

〔グランプリ〕 1名

na_mama0406 さん

(on instagram)



〔特別賞〕 2名

arupa7216 さん

(on instagram)



xinjingayumi6 さん

(on instagram)



上下流交流活動

水の週間実行委員会は、水資源の有限性、水の貴重さ、水資源開発、健全な水循環の重要性について、国民の間に広く理解と関心を深めるため、ダム水源地域等の振興等に資する活動を行う団体への助成事業を行っています。令和4年度についても助成に関する公募を行い、選考の上、以下に掲げる15団体への助成決定を行いました。なお、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から交流事業等が中止になった事業もあります。

No.	実施団体	名称・内容	実施日・実施場所
1	豊川総合用水土地改良区	令和4年度豊川用水上下流交流事業 豊川用水の水源地である愛知県新城市在住の小学生に、上流で貯められた水が、下流でどのように有効利用されているかを知ってもらうことを目的に、豊川用水についての概要説明や施設の現地見学等を実施。	令和4年8月1日(月) 愛知県新城市
2	認定NPO法人 水のフォーラム	第9回上下流交流一八ッ場ダム編③「知る 知る ハッ場ダム」 利根川上流域の山塊を周遊し、そこに降る雨を集める吾妻川や吾妻川に集まる洪水を一手に引き受けるハッ場ダムの役割等を知るとともに、上流地域に住む方との意見交換等を実施。	令和4年8月21日(日)・22日(月) 群馬県川場町ほか
3	納涼川床運営委員会	水辺で乾杯！「納涼川床体験会」 大川町の町名は松浦川から名づけられており、「水辺で乾杯！」とのキャッチフレーズ流域住民がこぞって参加できる納涼川床体験会を8月～9月の2ヶ月間に渡り実施し、河川に親しみ川を体感する機会の場を創出。	令和4年8月6日(土)～9月30日(金) 佐賀県伊万里市 (ウオーターフロントこまなき)
4	愛知用水水源交流事業	愛知用水水源交流事業 (中止) 水源地王滝村の村有林にて育樹作業を行い、水源涵養の大切さを体感する。水源地域住民との交流を図ることにより、水源地域の現状や今後の発展等について意見交換を実施。	令和4年8月3日(水)・4日(木) 長野県木曾郡王滝村
5	公益財団法人あまぎ水の文化村	ウオーターフェスティバル2022 文化村の特性を生かした上下流交流を目的とする活動や水源地域の活性化を図ることを目的とする活動 水源地をはじめ、県内や県外から多くのお客様が来訪。	令和4年7月31日(日) 福岡県朝倉市
6	NPO法人 家棟川流域観光船	次世代の子供達に自然環境体験学習 (中止) 淀川流域における上下流の住民間の交流を促進し、琵琶湖の自然環境及び水資源の大切さを学ぶ事業として、大阪府豊中市の子供達と地元野洲市の子供達で、シジミの収穫体験。	令和4年8月及び9月 滋賀県野洲市
7	利根川源流讃歌合唱団	第20回水のふるさと「利根川源流讃歌」コンサート 合唱活動を通じて、源流から太平洋へと流れる利根川の素晴らしさを伝える。	令和4年9月11日(日) 群馬県みなかみ町
8	子供のもり公園活性化協会	夏休みにおもいきり自然体験！！水辺の自然観察 小さい子どもさんから大人まで水と親しめ、生き物観察や室生ダムが生活にいかにかに密着しているか出前講座を開催。水資源の有限性、水の貴重さ及び水資源の重要性についての関心を高める。貴重な副ダム散策の機会を提供し、地域住民の交流できる場づくりを行う。室生ダムに生息する生き物観察を実施。	令和4年7月24日(日) ほか 奈良県宇陀市

No.	実施団体	名称・内容	実施日・実施場所
9	生命の水と森の活動センター協議会	ブナ林探訪会 (中止) 揖斐郡内及び西濃地域の親子を対象に、ブナを中心とした広大な自然林に触れながら、自然環境保全の大切さを学ぶ。また、徳山ダム of 姿を目の当たりにしながら、ダムの役割を学ぶ。	令和4年8月27日 (日) 岐阜県揖斐川町
10	加古川西部土地改良区	翠明湖の桜を救え! 水源地との上下流交流の一環で、翠明湖(糶屋ダム)周辺の管理用道路に植樹された桜の下刈り立木伐採等の周辺整備の協働作業を通じて水源地への感謝を表す。	令和4年11月27日(日) 兵庫県多可町
11	東播用水「水と緑の交流」実行委員会	東播用水源流ミニツアー 東播用水の源流・丹波篠山を訪れ、施設を見学すると共に、東播用水の受益者並びに一般住民が上流地域の住民との交流を深め、主要水源である丹波地域の森林の環境保全の実態を理解してもらう。	令和4年10月8日 (土) 兵庫県丹波篠山市
12	神奈川県秦野市	第6回秦野名水フェスティバル 市民共有の財産である本市の地下水を守り育て、将来にわたって利活用していくため、「秦野名水」の豊かさを広く周知することを目的として「水の日」関連事業「秦野名水フェスティバル」を実施	令和4年8月6日(土) 神奈川県秦野市
13	特定非営利活動法人 七山むらづくり協議会	七山地区河川整備プロジェクト 七川地区の中央を流れる川について上下流が一体となって草刈・清掃活動を実施	令和4年7月10日(日)・ 15日(金) 佐賀県唐津市
14	環境教育班えこいく	浴衣 de 打ちミズ ～夏の陣 2022～ 打ち水を通じて水の貴重さなどについて国民の関心を高め、水の大切さを改めて認識し、水不足をはじめとした水問題に目を向けるきっかけを醸成する。	令和4年8月6日(土) 佐賀県佐賀市
15	十勝川中流部市民協働会議	札内川ダム利活用促進事業 札内川ダム湖を活用したアクティビティを創出し、札内川ダムの治水機能以外の魅力発信	令和4年7月27日(水) 北海道中札内村

【実施状況 (抜粋)】



夏休みにおもいっきり自然体験!! 水辺の自然観察
(子供のもり公園活性化協会)



令和4年度豊川用水上下流交流事業
(豊川総合用水土地改良区)

国・地方公共団体等における取組について

内閣官房水循環政策本部事務局をはじめとする国の機関や地方公共団体等において、水に関する理解を深めるための取組が実施されました。また、新型コロナウイルス感染症の影響により、集客型のイベントが多数中止される中、Webサイトでのオンラインイベントなど、新たな形で実施された取組もありました。

○国土交通省内でのパネル展示

期間 令和4年8月22日（月）～令和4年9月2日（金）

場所 合同庁舎3号館1階正面玄関展示スペース（東京都千代田区霞が関2-1-3）

内容 第37回水とのふれあいフォトコンテスト入賞作品、令和4年度水資源功績者表彰受賞者功績概要、第44回全日本中学生水の作文コンクール優秀作品を展示し、国土交通省職員及び来庁者に水の大切さをPRしました。



パネル展示状況
(水とのふれあいフォトコンテスト
入賞作品)



パネル展示状況
(水資源功績者表彰受賞者
功績概要)



パネル展示状況
(全日本中学生水の作文コンクール優秀作品)

○国土交通省ダムカレーの販売

期間 令和4年7月26日（火）～令和4年7月28日（木）

場所 合同庁舎3号館地下1階職員食堂（東京都千代田区霞が関2-1-3）

内容 「森と湖に親しむ旬間（7/21～7/31）」と「水の週間（8/1～8/7）」のコラボ企画として、国土交通省ダムカレーを販売し、水の日（8/1）のPRをしました。およそ1日40食が販売され、連日売り切れの盛況でした。（合計 約150食）

また、7月26日には、中山元国土交通副大臣とダムマニアの宮島咲さんによるダムカレーの試食が行われました。



ダムカレーのモデルとなった矢木沢ダム



ダムカレー試食の様子
（中山元国土交通副大臣、ダムマニア宮島咲さん）

○「びわ湖の日」環境イベント【滋賀県】

期間 令和4年6月25日（土）、6月26日（日）

場所 ブランチ大津京ブランチさんかく広場

主催 滋賀県環境政策課

人数 約3,000人（上記期間の合計）

内容 7月1日「びわ湖の日」を前に、参加者、特に若年層が「びわ湖の日」を知り、琵琶湖を自分の生活のフィールドとして捉え、琵琶湖の環境を自分ごとと捉え、自分にできる環境保全を見つけ、将来的な環境保全行動の促進に繋げるための環境啓発イベント



「びわ湖の日」ポスター



イベントの様子



ステージイベントの様子

○「水の日」ブルーライトアップ

実施日 令和4年8月1日（月）

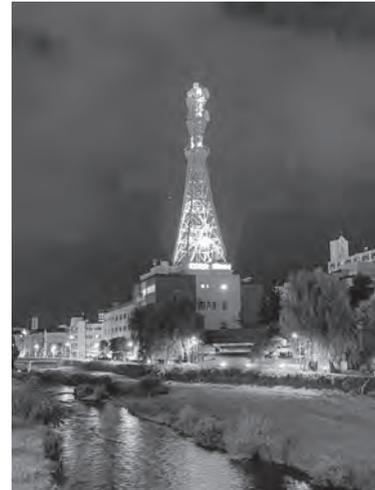
場 所 全国各地の施設（88箇所）

内 容 内閣官房水循環政策本部事務局では、8月1日「水の日」に、「水の日」の認知度向上や普及啓発を図るため、「水」を連想させるブルーでのライトアップを都道府県、事業者、関係団体等に呼びかけ、全国各地の施設で実施されました。

ブルーに染まった各地の施設



明石海峡大橋
(兵庫県神戸市)



マイクロ波無線鉄塔
(岩手県盛岡市)



平塚駅南口広場
人魚像「海の賛歌」
(制作者：澤田 政廣)
(神奈川県平塚市)



大山ダム
(大分県日田市)

広報の取組

国民に「水の日」（8月1日）を広く知っていただき、健全な水循環の重要性について理解と関心を深めていただくため、令和3年7月に水循環政策担当大臣（国土交通大臣）が、ポケットモンスターの「シャワーズ」を「水の日」応援大使に任命しました。

「シャワーズ」大使には、「水の日」PR動画へ出演をはじめ、さまざまな活動を通じ、「水の日」の認知度の向上に努めていただいています。

○「水の日」動画によるPR

投稿日 令和4年7月1日（金）

媒体 YouTube（国土交通省チャンネル）

URL <https://www.youtube.com/watch?v=UQevd1QPefe>

「シャワーズ」と2022ミス日本「水の天使」の横山莉奈さんが出演する「水の日」PR動画を制作し、YouTube（国土交通省チャンネル）で公開しました。

今年の動画は、埼玉県秩父市にある浦山ダムにて撮影しており、東京都心へつながる荒川水系の水源地の1つとして取り上げています。

「水の日」動画は、大きな反響を受け、昨年の動画を大きく上回り、25万回再生を超えて再生されています。（昨年度約3万4千回再生）



水の日 PR 動画



水の日 PR 動画 QR コード

動画は、YouTube（国土交通省チャンネル）以外に、さいたま新都心駅の構内や、新宿西口、東京都庁内のデジタルサイネージなどにて放映されました。



さいたま新都心駅の構内



東京都庁内ロビー

○8月1日「水の日」までのカウントダウン

今年はじめ、8月1日「水の日」の1週間前より、Twitter（国土交通省アカウント）で「シャワーズ」によるカウントダウン動画を公開しました。動画は累計約163万回再生、約1万2千ツイート、4万6千いいねを獲得し、「水の日」の認知度向上、機運の醸成に大きく貢献しました。



○「水の日」ポスターによるPR

期間 令和4年7月1日（金）～令和4年8月7日（日）

場所 関係府省庁、都道府県、市町村、中学校、鉄道会社等で掲出

内容 「シャワーズ」と2022ミス日本「水の天使」の横山莉奈さんを採用したポスターを制作し、積極的な情報発信を行いました。ポスターは、官公庁（地方公共団体、地方整備局等）のほか、全国の鉄道会社や民間企業の施設でも掲示いただき、「水の日」の認知度向上を図りました。（ポスター配布枚数約2万枚）



令和4年度「水の日」ポスター



ポスター掲出状況
東京メトロ（霞が関駅）

○SNSによるバナー広告の掲載

サイト名 Twitter、Instagram、YouTube、TikTok

期間 令和4年7月5日（火）～令和4年8月1日（月）

広告内容 ポケットモンスター「シャワーズ」が『水の日』を応援！
みなさん、8月1日が「水の日」って知っていましたか？
みなさんも、「水の日」をきっかけに、水の大切さや健全な水循環の重要性について、家族やお友達と一緒に考えてみませんか。

#水の日で投稿して、「水の日」を盛り上げましょう！



バナー広告

○「水の日」応援大使「シャワーズ」の派遣

地方公共団体が主催する「水の日」関連行事に、行事の実施効果を高め、「水の日」の認知度の向上および国民の間に広く健全な水循環の重要性についての理解と関心を深めてもらうため、「水の日」応援大使「シャワーズ」を派遣しました。

今年は、3カ所の「水の日」関連行事に「シャワーズ」が登場し盛り上げました。

■ 8月3日（水）神奈川県横浜市 YOKOHAMA Save The Water 2022



■ 8月11日（木）静岡県富士宮市 市制施行80周年記念事業「水の日記念事業」



■ 8月19日（金）兵庫県尼崎市 夏休み みんなで打ち水！2022



第46回「水の週間」（令和4年度）都道府県行事一覧

項目 都道府県名	ポスター	パンフレット	映画会・音楽会・研修会 講演会・シンポジウム等	上下流交流 施設見学会等	街頭キャンペーン	展示会等	水の作文コンクール	広報・PR活動等					
								テレビ	ラジオ	新聞	広報紙	ホームページ	懸垂幕・横断幕 電光掲示板・立看板
全国	47	5	3	8	3	20	45	2	9	10	13	34	12
北海道	○					◎	◎					○	
青森県	○					☆	◎					○	
岩手県	○						◎					○	
宮城県	○					○	◎		○			○	
秋田県	○						○						
山形県	○		○			○							
福島県	○						◎					◎	
茨城県	○					○	○		○			○	
栃木県	○	◎					◎		○	○		○	○
群馬県	○						◎					○	
埼玉県	○			○			◎		○		◎	◎	◎
千葉県	○					○	◎				◎	◎	○
東京都	○					○	◎				◎	○	○
神奈川県	○		☆			◎	◎		☆	◎	◎	◎	
新潟県	○						◎			○		○	
富山県	○						◎			○			◎
石川県	○						◎						
福井県	○					○	○			○	☆		
山梨県	○					○	○						
長野県	○	◎					○						☆
岐阜県	○					◎	◎					○	
静岡県	◎	◎	☆	☆		☆	○				☆	◎	
愛知県	○			☆		◎	◎					○	
三重県	○			☆			◎					○	
滋賀県	○						◎			○		○	
京都府	○					◎	◎					◎	
大阪府	○				☆	☆	◎	☆		☆	☆	☆	☆
兵庫県	○				◎	○	◎			☆	☆	◎	
奈良県	○						◎					○	
和歌山県	○						◎					○	
鳥取県	○						○						
島根県	○						◎		○	○	○	○	
岡山県	○			☆			○						☆
広島県	○						◎					◎	
山口県	○						◎					○	
徳島県	○			○			◎						○
香川県	○	◎		○			◎	○	○		○	○	
愛媛県	○			☆		◎	◎					◎	
高知県	○				◎								
福岡県	○						◎		○		○	○	○
佐賀県	○					○	◎						
長崎県	○					☆	◎				☆	◎	
熊本県	○						○				☆	◎	
大分県	○						◎						○
宮崎県	○						◎		○	○		○	○
鹿児島県	○						◎				☆	☆	
沖縄県	○	◎				○	◎					○	

注)「ポスター」欄の○は、全国共通版(国土交通省作成)を配布したことを示し、◎は都道府県等で独自に作成したものも配布したことを示す。

「パンフレット」欄の◎は、都道府県等で独自に作成したものを配布したことを示す。

「水の作文コンクール」欄の◎は、都道府県レベルでの「地方表彰」を行っていることを示す。

それ以外の○は、都道府県が独自に取り組んでいることを示し、◎は都道府県に加え市町村等が独自に取り組んでいることを示し、

☆は市町村等のみが独自に取り組んでいることを示す。

第46回「水の週間」新聞等報道状況

月 日	都道府県	新聞名	地域	見 出 し
5月26日	福島県	福島民報	地方	伊藤さん(葛尾3年)ら優秀賞 中学生水の作文県審査5作品選出
5月26日	福島県	福島民友	地方	伊藤さん(葛尾3年)ら優秀賞 中学生水の作文5点全国へ
6月17日	静岡県	伊豆新聞	地方	水の大切さ知ろう
6月18日	静岡県	富士ニュース	地方	水の大切さ伝える
7月3日	熊本県	熊本日日新聞	地方	1人1日2リットルの節水を 熊本市・下通アーケードでパレード
7月17日	香川県	西日本放送(ラジオ)	地方	節水チャレンジについて
7月18日	鹿児島県	読売新聞	地方	甲突川に親しむ催し 家族連れらカヤック体験
7月19日	鹿児島県	南日本新聞	地方	甲突川スイスイ
7月23日	神奈川県	神奈川新聞	地方	道志水源林保全啓発イベント開催
7月24日	和歌山県	日高新報	地方	優秀者3人を表彰
7月25日	香川県	NHK(テレビ・ラジオ)	地方	“水の大切さ知って” 家庭で「節水チャレンジ」始まる
7月25日	香川県	瀬戸内海放送(テレビ)	地方	水道メーターを自分でチェックし節水を実感 第2次取水制限中の香川県で「節水チャレンジ」開始
7月28日	茨城県	茨城新聞	地方	中学生水の作文コンクール最優秀賞に渡辺さん(鹿島高付属中)
7月28日	神奈川県	日本水道新聞	全国	横浜市3局「水の日」啓発へ リーフレット制作
7月28日	国交省	日本水道新聞	全国	8月1日は水の日 関連行事各所で
7月29日	神奈川県	神奈川新聞	地方	中学「水の作文」永峰さん最優秀
7月29日	福井県	福井新聞	地方	御清水照らす絵提灯 大野高生、花や波紋描く
7月29日	鹿児島県	建設新聞	地方	「水の日」ブルーライトアップ
7月30日	愛知県	東愛知新聞	地方	豊橋本郷中3年の中村光里さん国の中央審査で環境大臣賞
7月31日	福井県	福井新聞	地方	水 大切さ考えよう あす夜県内3ヶ所青色に
8月1日	富山県	北日本新聞	地方	きょう8月1日は「水の日」
8月1日	福井県	福井新聞	地方	す〜いすいアヒル川下り 大野の木瓜川 おもちゃでレース
8月1日	兵庫県	神戸新聞	地方	小学生ら打ち水「涼しい！」 地球温暖化についても学ぶ
8月1日	兵庫県	読売新聞	地方	尼崎の小学生ら 打ち水 ひんやり
8月2日	和歌山県	テレビ和歌山	地方	全日本中学生水の作文コンクール
8月2日	和歌山県	和歌山放送(ラジオ)	地方	第44回全日本中学生水の作文コンクール」表彰式
8月2日	栃木県	日本工業経済新聞(速報栃木版)	地方	5日に水の日イベント 県水の週間 湯西川水の郷で
8月2日	福井県	日刊県民福井	地方	守ろう大野の水環境 真名川 児童が生物、水質調査

月 日	都道府県	新聞名	地域	見 出 し
8月2日	兵庫県	読売新聞	地方	街中の涼で夏乗り切れ ミスト設置 打ち水セット貸し出し
8月2日	熊本県	テレビくまもと	地方	8月1日の『水の日』に合わせてブルーにライトアップ
8月2日	鹿児島県	南日本新聞	地方	なし
8月2日	沖縄県	宮古毎日新聞	沖縄県	友利歩夢さんが入選 中学生水の作文コンクール 県教育長に受賞報告
8/2～ 8/4	滋賀県	京都新聞	滋賀県	滋賀県中学生水の作文コンクール
8月3日	愛知県	日本農業新聞	地方	水の歴史 楽しく学ぶ
8月3日	兵庫県	神戸新聞	地方	ドライミストの涼に一息 芦屋市役所、3年ぶり設置
8月3日	兵庫県	神戸新聞	地方	ひまわりの塔 青く 水資源の大切さ呼びかけ
8月3日	島根県	山陰中央新報	地方	水 大切に使いましょう
8月3日	大分県	大分放送	地方	子どもたちが浄水場探検 水の大切さを学ぶ
8月4日	福島県	福島民報	地方	満田さん(一箕中2年)ら表彰 福島で水作文県コンクール
8月4日	福島県	福島民友	地方	水の作文入選者満田さんら表彰
8月4日	静岡県	静岡新聞	地方	片桐君、石川さん知事賞 水の週間作文
8月4日	京都府	日本水道新聞	全国	中学生水の作文 和歌山断水事故 経験談が優秀賞
8月4日	国交省	日本水道新聞	全国	質の高い社会 水から 水の日 水への関心を深めて
8月5日	神奈川県	レディオ湘南(ラジオ)	地方	打ち水で涼しく過ごしましょう
8月5日	富山県	富山新聞	地方	中学生9人が入賞 水の作文コンクール
8月5日	長野県	北信ローカル	地方	環境保全の大切さ 川下りで体感
8月5日	愛知県	中日新聞	地方	用水の歴史や重要性 パネルや地図で紹介
8月5日	大分県	大分合同新聞	地方	水質管理の仕組みを学ぶ 大分市で小学生ら「上下水道たんけん隊」
8月5日	宮崎県	MRT宮崎放送	地方	宮崎市の中学生在が河川国道事務所の一日事務所長
8月5日	宮崎県	NHK宮崎NEWS WEB	地方	水の作文で「優秀賞」中学生が宮崎河川国道事務所で一日所長
8月6日	長野県	市民タイムス	地方	打ち水で涼をお届け
8月6日	愛知県	朝日新聞	地方	初の一日管理所長体験は中学3年生
8月8日	国交省	水道産業新聞	全国	水の日・水の週間 「つどい」を開催 水の恵みを将来へ
8月12日	富山県	北陸中日新聞	地方	県中学生水作文 湊さんらを表彰(7校431点応募)
8月12日	愛媛県	愛媛新聞	地方	水源地守る大切さ実感(石手川&森の探検隊)
8月12～13日	和歌山県	和歌山放送(ラジオ)	地方	第44回「全日本中学生水の作文コンクール」表彰式(朗読)
8月20日	愛知県	東海日日新聞	地方	本郷中3年の中村さん受賞を報告

月 日	都道府県	新聞名	地域	見 出 し
8月21日	愛知県	東愛知新聞	地方	中村さん環境大臣賞
8月21日	徳島県	徳島新聞	地方	全日本中学生水の作文コンクール 笠江さん(那賀川3年)県内初の第1席
8月22日	神奈川県	水道産業新聞	全国	SDGsや水源保全を啓発
8月24日	徳島県	徳島新聞	地方	全日本水の作文コンクール第1席 笠江さん(那賀川中3年)一日所長就任
8月25日	徳島県	朝日新聞	地方	水の作文 内閣総理大臣賞 阿南の中3・笠江さん 一日所長 那賀川の安全学ぶ
8月26日	和歌山県	テレビ和歌山	地方	ピックアップコーナー「全日本中学生水の作文コンクール」
未定	大阪	水道産業新聞	全国	水循環と防災展を開催(仮)

「水の週間」実施経過

メインスローガン「水—この限りある貴重な資源」 「水は限りある貴重な資源です」

(国土庁発足 S49. 6. 26)
 (国土交通省に再編 H13. 1. 6)
 (水循環政策本部発足 H26. 7. 1)

年・回	サブスローガン	ポスターキャッチフレーズ	実施事項	備 考
昭和 52 (1)	貴重な水・あなたと一緒に考えたい	水の用心	○水の週間展示会（国土庁会議室） （ポスター、パンフレット） ○第 1 回水資源に関するシンポジウム （10. 25）	・水の週間閣議了解（5. 31） ・国連水会議（3. 14 ～ 25） ・第三次全国総合開発計画閣議決定
昭和 53 (2)	水の価値をみなおそう 水源地域の人々に感謝しよう 水とのふれあいのなかで……	水も難局だな	○ウォーターフェア’ 78 （銀座 松屋）	・水の週間実行委員会設立 （5. 8、11 団体） ・長期水需給計画策定 ・福岡渇水
昭和 54 (3)	水源地域の人々に感謝しよう 水の大循環の中で私たちは… 限りある水—いまこそいかそう私 たちの智恵—	育てよう水 —足どり確かに、 — 一步一步。 —	○ウォーターフェア’ 79 （船の科学館） ○第 1 回全日本中学生水の作文コンク ール ○水資源功績者表彰 ○ウォーターフェアふくおか（福岡市）	・水資源世論調査
昭和 55 (4)	節水型社会をめざして 上下流の連帯を育てよう	貯めましょう日本の水 —みんなの水を、みんなの水 で。 —	○ウォーターフェア’ 80 東京 （科学技術館） ○上下流交流運動	・地域水需給計画推進 ・沖縄渇水
昭和 56 (5)	水源の人たちに感謝しまし いのちの水・水とのであい。	今日の水・明日の水 —水みんなの和で 育てよう。 —	○ウォーターフェア’ 81 東京 （科学技術館） ○第 1 回ウォーターフェア隅田川 レガッタ ○ウォーターフェアポートピア （兵庫県）	・水研究協力校の指定
昭和 57 (6)		丈夫な水に育てたい。	○ウォーターフェア’ 82 東京 （科学技術館） ○第 2 回水資源に関するシンポジウム （8. 3 ～ 5）	・長崎水害
昭和 58 (7)		やさしい、水、好き。	○ウォーターフェア’ 83 東京 （科学技術館）	・これより毎年、水資源白書作成
昭和 59 (8)		水の愛につつまれて	○ウォーターフェア’ 84 東京 （科学技術館）	・水資源局から水資源部へ改組 （国土庁） ・国際河川博覧会（アメリカ・ニュー オリンズ）
昭和 60 (9)	考えよう水—くらしと水・資源とし て水—	水・ありがとう。	○ウォーターフェア’ 85 東京 （科学技術館） ○ウォーターフェア KOBE （神戸市）	・冬期渇水
昭和 61 (10)	築こう 水のある豊かな暮らし	いつも水といっしょ。	○ウォーターフェア’ 86 東京 （科学技術館） ○ウォーターランド（新宿副都心） ○第 1 回水とのふれあいフォトコンテ スト ○ダム子供マラソン（宮ヶ瀬ダム）	・水資源世論調査 ・冬期渇水（西日本）
昭和 62 (11)	水のある豊かな暮らし	水は、ともだち。	○ウォーターフェア’ 87 東京 （科学技術館） ○第 3 回水資源に関するシンポジウム （浩宮殿下による特別講演） （8. 4 ～ 5）	・首都圏渇水 ・第四次全国総合開発計画閣議決定 ・全国総合水資源計画（ウォータープ ラン 2000）策定
昭和 63 (12)	水のある豊かな暮らし	ぼくの水、みんなの水。	○ウォーターフェア’ 88 東京 （科学技術館） ○水の日記念テレビトーク	・浩宮殿下展示会御台臨 ・竹下内閣総理大臣記念式典臨席
平成元 (13)	水のある豊かな暮らし	水、今日もありがとう。	○ウォーターフェア’ 89 東京 （科学技術館）	・皇太子殿下展示会行啓 ・宇野内閣総理大臣記念式典臨席
平成 2 (14)	水のある豊かな暮らし	水がささえる豊かな社会	○ウォーターフェア’ 90 東京 （科学技術館）	・人と水とのかわり世論調査 ・首都圏渇水

年・回	サブスローガン	ポスターキャッチフレーズ	実施事項	備 考
平成 3 (15)	水が支える豊かな暮らし	水…みんなの宝	○ウォーターフェア’ 91 東京 (東京都庁)	・皇太子殿下記念式典、展示会行啓
平成 4 (16)	水が支える豊かな暮らし	考えよう、水のあした	○ウォーターフェア’ 92 東京 (東京都庁) ○第 4 回水資源に関するシンポジウム (10.24)	・環境と開発に関する国連会議
平成 5 (17)	水が支える豊かな暮らし	水がなくては生きられないから ね	○ウォーターフェア’ 93 東京 (墨田区役所)	・「国連水の日」制定 (3.22)
平成 6 (18)	水が支える豊かな暮らし	すばらしい自然の恵み 「水」を見直そう	○ウォーターフェア’ 94 東京 (墨田区役所)	・村山内閣総理大臣記念式典臨席 ・全国的な渇水 ・人と水とのかかわり世論調査
平成 7 (19)		大切に使おう、かけがえのない 「水」	○ウォーターフェア’ 95 東京 (墨田区役所)	
平成 8 (20)		天の恵み「水」。ありがとう。 「水」を見つめて、20 年。	○ウォーターフェア’ 96 東京 (科学技術館)	・皇太子ご夫妻記念式典、展示会行啓 ・橋本内閣総理大臣記念式典臨席
平成 9 (21)		夏、到来。	○ウォーターフェア’ 97 東京 (科学技術館) ○第 5 回水資源に関するシンポジウム (8.4～5)	
平成 10 (22)		みんなで考えよう、 水の大切さ…。	○ウォーターフェア’ 98 東京 (科学技術館)	
平成 11 (23)		「当たり前」ではありません！	○ウォーターフェア’ 99 東京 (科学技術館) ○水源地域からのメッセージ	・新しい全国総合水資源計画(ウオー タープラン 21)策定 ・小淵内閣総理大臣記念式典臨席、展 示会視察
平成 12 (24)		水の力	○ウォーターフェア 2000 東京 (江戸東京博物館)	
平成 13 (25)		水の世紀。川の恵み。	○ウォーターフェア’ 01 東京 (東京都庁)	・国土交通省発足 (1.6) ・全国的な渇水
平成 14 (26)		水の世紀。川の恵み。	○ウォーターフェア’ 02 東京 (新宿パークタワー) ○第 6 回水資源に関するシンポジウム (8.2～3)	・皇太子殿下記念式典、展示会行啓
平成 15 (27)		水の世紀。川の恵み。	○ウォーターフェア’ 03 東京 (科学技術館)	・長い梅雨、冷夏
平成 16 (28)		みんな水から始まった	○ウォーターフェア’ 04 東京 (科学技術館)	・東京の真夏日の連続記録更新 ・局所的な豪雨
平成 17 (29)		みんな水から始まった	○ウォーターフェア’ 05 東京 (科学技術館)	・全国的な渇水 ・局所的な豪雨
平成 18 (30)		水のある幸せ、これからも	○ウォーターフェア’ 06 東京 (科学技術館)	・皇太子殿下 水の展示会行啓 ・17 年末に全国で大雪、降水量首都圏 は平年並み
平成 19 (31)		水がある、いのちがある。	○ウォーターフェア’ 07 東京 (科学技術館) ○第 7 回水資源に関するシンポジウム (8.3～4)	・春から 6 月にかけ西日本を中心に少 雨続く、梅雨入りに遅れ、一部で渇 水、夏に記録的高温
平成 20 (32)		水はぐくむ和の暮らし	○ウォーターフェア’ 08 東京 ○水を考えるつどい (科学技術館)	・中国、四国地方を中心とした渇水 ・局所的な豪雨
平成 21 (33)		将来を安全・安心に暮らすた め、水を大切に使う社会へ	○ウォーターフェア’ 09 東京 ○水を考えるつどい (科学技術館)	・中国、九州北部を中心とした記録的 な豪雨
平成 22 (34)		水の安心・安全を考えよう！	○ウォーターフェア’ 10 東京 ○水の週間記念シンポジウム (科学技術館)	・局所的な豪雨 ・全国で記録的な猛暑
平成 23 (35)		水の恵み～東日本大震災を機 に考える～	○水の週間中央行事「水の展示会」 ○「水の週間」水を考えるつどい (科学技術館)	・皇太子殿下水を考えるつどい行啓 ・平成 23 年 7 月新潟・福島豪雨 ・全国で節電の夏
平成 24 (36)		水の恵みを未来に～健全な水循 環の再生を目指して～	○水の週間中央行事「水の展示会」 ○水の週間シンポジウム (科学技術館)	・平成 24 年 7 月九州北部豪雨 ・利根川水系渇水 ・全国で節電
平成 25 (37)		安全・安心な水のために	○水の週間中央行事「水の展示会」 ○水の週間シンポジウム (発明会館)	・全国的な渇水 ・全国で記録的な猛暑、局所的な豪雨

年・回	サブスローガン	ポスターキャッチフレーズ	実施事項	備 考
平成 26 (38)		水とめぐる水のめぐみ	○「水の日」「水の週間」記念 水を考えるつどい(砂防会館) ○水の週間中央行事「水のワークショップ・展示会」	・水循環基本法施行及び水循環政策本部設立 ・水循環基本法における「水の日」の法定化 ・平成 26 年 8 月豪雨(広島、京都など) ・御嶽山噴火
平成 27 (39)		みんなで考えよう！水のこと！	○「水の日」「水の週間」記念 水を考えるつどい(国連大学) ○水の週間中央行事「水のワークショップ・展示会」	・水循環基本計画閣議決定(平成 27 年 7 月) ・平成 27 年 9 月東北・関東豪雨
平成 28 (40)		水とめぐる水のめぐみ	○「水の日」「水の週間」記念 水を考えるつどい(科学技術館) ○水の週間中央行事「水のワークショップ・展示会」	・皇太子同妃両殿下 水を考えるつどい行啓 ・全国的な渇水
平成 29 (41)		水を探そう	○「水の日」「水の週間」記念 水を考えるつどい(イイノホール) ○水の週間中央行事「水のワークショップ・展示会」	・平成 29 年 7 月九州北部豪雨 ・全国的な渇水
平成 30 (42)		水は、大切でした。	○「水の日」「水の週間」記念 水を考えるつどい(イイノホール) ○水の週間中央行事「水のワークショップ・展示会」	・平成 30 年 7 月豪雨
令和元 (43)		私たちを支える水。考えてみませんか。訪ねてみませんか。	○「水の日」「水の週間」記念 水を考えるつどい(パークタワーホール) ○水の週間中央行事「水のワークショップ・展示会」	・全国的な渇水 ・令和元年 8 月前線に伴う大雨による土砂災害発生(佐賀県、長崎県など) ・令和元年 9 月台風 15 号による住家被害、大規模停電、断水(千葉県) ・令和元年 10 月台風 19 号による堤防決壊(東日本)
令和 2 (44)		ポケットモンスターのシャワーズも 8 月 1 日「水の日」を応援しています。	○「水の日」「水の週間」記念 水を考えるつどい(Web 配信)	・世界中に新型コロナウイルス感染症(COVID-19)が蔓延 ・新たな「水循環基本計画」が閣議決定(令和 2 年 6 月) ・令和 2 年 7 月豪雨
令和 3 (45)		未来へうけつごう 日本のきれいな水	○「水の日」「水の週間」記念 水を考えるつどい(パークタワーホール) ○水の週間中央行事「水の展示会オンライン」	・新型コロナウイルス感染症(COVID-19)が猛威 ・水循環基本法の一部改正(令和 3 年 6 月)、流域治水関連法の施行(令和 3 年 7 月) ・令和 3 年 7 月伊豆山土砂災害
令和 4 (46)		水を未来へつなごう シャワーズも応援！	○「水の日」「水の週間」記念 水を考えるつどい(イイノホール) ○水の週間中央行事「水のワークショップ・水の展示会オンライン」	・水循環基本計画の一部見直し閣議決定(令和 4 年 6 月) ・瑤子女王殿下 水を考えるつどい行啓 ・新型コロナウイルス感染症(COVID-19)が猛威

水の週間実行委員会について

昭和 53 年に、水に関係の深い民間団体により、「水の週間実行委員会」が設立され、「水の日」「水の週間」の趣旨に賛同し、この運動をさらに広汎な国民運動として推進することとして、政府・地方公共団体等が行う各種の啓発活動と連携して諸活動を実施している。

水の週間実行委員会設立趣意書

(昭和 53 年 5 月 8 日設立総会)

かつて、ケネディは「21 世紀を制するものは原子力と水だ」と断言し、水問題の重要性を訴えたが、まことに水は国の産業経済の発展のみならず人類の生存に必須なものであり、水問題の解決なくしては将来の発展は考えられないとあってよいであろう。

古来、我が国は、豊葦原瑞穂の国といわれ豊かな水に恵まれ“水の恩恵”を享受してきており、「水は天からもらい水」「湯水のように使う」などの言葉に示されるように水はいつでも好きなだけ使える無尽蔵な資源と考えられがちであった。

しかし、近年における生活水準の向上、産業経済の発展に伴い特に人口・産業の集中が著しい関東・近畿等の都市における生活用水、工業用水等の水需要が急激に増大し、渇水時における水不足や水質汚濁、地盤沈下等の問題を生じるどころとなり、ようやく「水」が限りある資源として認識されはじめたところであるが、まだ十分とはいえない。

このため、政府は、昭和 52 年に 8 月 1 日を「水の日」とし、この日から 1 週間を「水の週間」と定め水に関する国民の理解と認識を深めることとして、水に関する各種の啓発運動を実施したところであるが、誠に時宜を得た意義深いものであり、今後とも積極的な展開が望まれるところである。

とりわけ、開発適地の減少等からダム等による水資源開発が次第に困難となり近い将来における水需要のひっ迫が避けられず、今後は水利用の合理化等の施策の推進が必要となっている今日の状況に鑑みるならば、「水の週間」における啓発運動をさらに積極的に推進し、国民一人一人が水資源開発の重要性を十分認識し、水の有限性・貴重さを理解し節水等の具体的な行動に留意するような効果的な運動として盛り上げる必要がある。

このような考えのもとに、政府による「水の週間」の各種の啓発運動と一体となった諸行事を積極的に実施し、もって水資源問題解決の一助に資するものとして、「水」に深いかわりをもつ事業団体等によっての水の週間実行委員会を設立するものである。

水の週間実行委員会組織

会長 虫明 功臣

令和4年10月1日現在

団体名	実行委員		運営委員	
全国水土里ネット	専務理事	室本 隆司	広報センター所長	牧 千 瑞
造水促進センター	理事長	山本 和夫	専務理事	大熊 那夫紀
日本治山治水協会	会長	山口 俊一	専務理事	津元 頼光
日本河川協会	会長	甲村 謙友	常務理事	志賀 文夫
日本工業用水協会	会長	正司 尚義	専務理事	-
日本水道協会	理事長	青木 秀幸	調査部長	玉野 井 晃
全国簡易水道協議会	会長	小田 祐士	事務局長	小平 鉄雄
日本下水道協会	理事長	岡久 宏史	常務理事	成田 儀範
日本ダム協会	会長	押味 至一	専務理事	光成 政和
利根川・荒川水源地域対策基金	理事長	藤井 友竝	事務局長	明戸 邦浩
	常務理事	渡邊 和足		
日本水フォーラム	代表理事	竹村 公太郎	代表理事	竹村 公太郎
地下水適正管理協議会	会長	山本 和夫	情報部会長	島田 克也
土木学会	会長	上田 多門	専務理事	塚田 幸広
農業農村工学会	会長	平松 和昭	専務理事	小泉 健
東京大学	名誉教授	虫明 功臣		
水資源機構	理事長	金尾 健司	総務部長	小山陽 一郎
	理事	◎ 山田 哲也		

団体名	実行委員	運営委員	
国土交通省（水資源部）	—	大臣官房審議官 水資源政策課長 水資源計画課長 水資源政策課水源地域対策企画官 水資源政策課課長補佐	○ 永井 春信 中川 雅章 川村 謙一 田畑 美菜子 唐澤 久崇
東京都（都市整備局）	—	局 長 都市づくり政策部長 都市づくり政策部 水資源・建設副産物担当課長	福田 至 山崎 弘人 増井 潔

◎運営委員長 ○運営副委員長

第46回「水の週間」ポスター

8月1日は 水の日

水を未来へつなごう
シャワーズも応援!

ポケットモンスター
No.134 シャワーズ
タイプ みず
とくせい ちよみず

シャワーズはきれいな水辺に生息し、
細胞が水の分子に似ていることから、
「水の日」応援大使として「水の日」を応援しています。

「水の日」を推進する団体、関係者、水の週間実行委員会
【編者】文部科学省、厚生労働省、農林水産省、経済産業省、環境省
【協力】国土交通省、国土院、国土交通省、国土交通省、国土交通省
【協力】国土交通省、国土院、国土交通省、国土交通省、国土交通省
【協力】国土交通省、国土院、国土交通省、国土交通省、国土交通省

<https://mizunohi.jp>
水の日 検索

水循環基本法に基づき8月1日が「水の日」と定められました。8月1日から7日は「水の週間」です。

2022.7.14 (水) 撮影
横山 莉奈

水の週間実行委員会事務局

〒330-6008 埼玉県さいたま市中央区新都心 11-2

独立行政法人水資源機構 総務部広報課内

TEL 048-600-6513 FAX 048-600-6510